

本日のおもちかえり
2018年11月11日

1) 「眼から鱗がとれた」という言葉から、あなたはどんな意味をそこからくみ取りますか。どんなイメージを思い浮かべますか。

2) パウロの目の前にあった鱗とは何だったと思いますか（使徒行伝9章）。パウロが視力を失った三日間、彼はどんなことを考えていたと想像しますか？

3) ルカによる福音書7章36節—39節を読みましょう。もし、あなたがその場に居合わせたら、どんな思いをもってこの女とイエス様を見ていると思いますか。イエス様はどんな思いでこの女性を見ていたと思いますか。

4) パリサイ人が「それは罪の女なのだから」（9）と言った時、彼が忘れていたことは何ですか。

5) ルカ7章44節—47節を読みましょう。イエス様はここで罪人を二つに分類しています。それはどんな分類ですか。

6) マルコ14章3節—9節を読みましょう。ここに居合わせた人達とイエス様の視点には大きな違いがありました。それは何ですか。イエス様は何を見つめていましたか。このイエス様の視点を私達はなぜ見失いがちなのですか

7) 使徒行伝10章9節—16節を読みましょう。このことによりペテロの目からどんな鱗がとれましたか。ペテロの視点と神様の視点の違いは何ですか。

8) この世界のどこに神様の視点の欠如を見ることができますか。

9) どうしたら私達は神様の視点をもって、この世界を見ることができるのでしょうか。